

第 40 回全国環境研究所交流シンポジウム 未回答となったチャット質問への回答

(9)「埼玉県における一般廃棄物最終処分場管理者との連携構築」

発表者：磯部 友護（埼玉県環境科学国際センター）

【質問】

最終処分場を廃止できない理由は、浸出水の水質、埋立地内の温度・ガスなどありますが、どのような理由が多いのでしょうか。埋立終了から何年くらい経過しているのでしょうか。

【回答】

最終処分場ごとに埋立容量や埋立物など状況が異なるので一概に申し上げることはできませんが、浸出水の廃止基準を満たせない事例が多いと感じております。また、周辺への安全性確保の観点から最終処分場設置者が自らより厳しい自主基準を設定することにより、廃止期間が長引いてしまうのも要因の一つとして考えております。

埋立終了からの経過年数についても最終処分場ごとに状況が異なりますが、当県においては約 30 年経過した最終処分場が最多となっております。

【質問】

廃止するには廃掃法の基準との調整が必要だと思いますが、国とは連携しているのでしょうか？

【回答】

一般廃棄物最終処分場の設置や廃止手続申請は廃棄物処理法に基づき都道府県や政令市が判定することになっております。当県では管轄の環境管理事務所と資源循環推進課が担当しており、国との直接的な連携はしていませんが、廃止基準値の改正等については適宜、照会や情報共有を図っております。

(19)「気候変動が暑熱健康に及ぼす影響とその適応に関する連携研究」

発表者：岡 和孝（国立環境研究所）

【質問】

図 2 の見方ですが、WBGT が経年的に見て 25℃ぐらいで横ばいのようなのですが、2023 年のような猛暑年を反映していないように見えますが、いかがですか？

【回答】

表示されている WBGT のレンジの関係で、各年の差異が分かりづらい図となっておりますが、2023 年が最も高い WBGT 値を示す結果となっております。

データの詳細につきましては情報源の下記サイトをご確認頂けると幸いです：

https://www.wbgt.env.go.jp/record_data.php?region=03&prefecture=44&point=44132

以上